



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

09.24 NO-37

教職の魅力にふれる一週間 ～ 教員をめざす学生の学校体験制度 ～

「教員をめざす学生の学校体験制度」とは、教員を志望する学生の皆さんが、児童とふれあったり、教員の仕事に接したりする体験を通して、教職の魅力を実感し、教育への意欲を高めることを目的として、県教育委員会（教育庁教職員課 Web ページに制度の説明があります）が実施している制度です。

今年度は、本校に9月22日（月）から、体験を希望する大学1年生の学生1名が来校しています。本人の希望もあり、9月26日までの期間、特別支援学級、6年生、4年生、2年生の各学級で学校体験を行います。

<学校体験の学生から一言>



給食の時間



昼休みにドッジボール

これまで児童や生徒として過ごしてきた私が、先生という立場で現場に立つという貴重な機会をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

すれ違うたびに「こんにちは」と挨拶をする子どもたちに沢山の元気をもらい、上宇部小学校の温かさを感じています。

体験をとおして、子どもたちと関わることの楽しさや、先生という仕事のやりがいを改めて実感しているところです。また、先生方がどのように子どもたちと向き合い、接していらっしゃるのかを身近で学ぶことができており、とても勉強になります。

この経験を今後の学びにしっかり活かしていきたいと思っています。

体験生の受け入れにあたっては、どの学年の教員も「教員を目指す大切な学生なので、喜んでサポートします!」と、温かい気持ちで受け入れ態勢を整えています。それぞれの学年が体験学生にとって充実した時間となるよう、担当日のプログラムを工夫しています。

教員は、国や社会の礎を築く人材育成を担うという、崇高な使命とやりがいのある職業です。そして、純粋な子どもたちとふれあいながら学校生活をともに過ごすことは、多くの感動や喜びを与えてくれ、それが働くことの原動力にもなります。

今回の学校体験を通して、学生の皆さんがそうした魅力を実感し、「教員の仕事ってすてきだな。」と感じてもらえることが、受入れ学校としての願いです。